

**令和元年度「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」（2次公募）
事後評価対象課題（22課題）**

1 新興感染症等の有事に即時対応・転用可能なプラットフォーム構築に係る開発研究

開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題
R2	R2	岩見 真吾	九州大学	准教授	ウイルス非特異的感染動態定量化に基づいた治療最適化プラットフォームの開発
R2	R2	鶴澤 尊規	理化学研究所	専任研究員	生細胞内のウイルスを可視化する BEFペプチドの開発
R2	R2	鈴木 幸一	帝京大学	教授	あらゆる新興感染症にすぐに対応可能で特別な装置や技術を要さない核酸迅速診断法のための基盤技術開発
R2	R2	田岡 和城	東京大学	助教	人工知能を用いたCOVID19肺炎の重症度トリアージシステムの開発
R2	R2	平井 豊博	京都大学	教授	間質性肺炎定量化技術を用いた、COVID-19等、新興・再興感染症に対するクラウド型病変定量化システムの研究開発
R2	R2	藤谷 茂樹	聖マリアンナ医科大学	教授	アダプティブデザインを用いたCOVID-19国際多施設ランダム化比較試験と重症呼吸器感染症に対する臨床研究体制の基盤構築
R2	R2	丸山 厚	東京工業大学	教授	感染症関連RNAに対するカスタマイズ性に富む迅速・簡便検出法開発
R2	R2	吉見 一人	東京大学	講師	新規ゲノム編集技術を用いた新興感染症に対する高精度な即時診断法の開発
R2	R2	米満 吉和	九州大学	教授	多種新興感染症に即応可能かつ治療ワクチン効果を持つoff-the-shelf型細胞製剤（GAIA-102）の開発
R2	R2	渡部 良広	金沢大学	特任教授	感染責任部位エピトープ舌下ワクチンによる新型コロナウイルス感染防御法の開発

2 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応可能な基盤技術および予防・診断・治療法の開発

開始年度	終了年度	研究開発代表者	所属機関	役職	研究開発課題
R2	R2	荒瀬 尚	大阪大学	教授	新型コロナウイルス感染症の重症化予防法・治療法の開発
R2	R2	磯部 正治	富山大学	教授	SARS-CoV-2の臨床現場即時検査法開発に関する研究
R2	R2	伊藤 靖	滋賀医科大学	教授	カニクイザルモデルを用いた新型コロナウイルスに対する組換えワクチンの開発
R2	R2	笠原 勇矢	医薬基盤・健康・栄養研究所	サブプロジェクトリーダー	COVID-19の診断・予防・治療を目指した人工核酸アプタマーの開発
R2	R2	佐藤 佳	東京大学	准教授	システムウイルス学による新型コロナウイルス感染症等新興感染症の病原性発現および異種間伝播の原理の解析
R2	R2	杉山 真也	国立国際医療研究センター	副プロジェクト長	COVID-19の予後予測因子の開発とその臨床応用に向けた研究
R2	R2	竹内 一郎	横浜市立大学	教授	COVID-19患者層別化による医療資源の最適分配とアウトカム向上
R2	R2	田中 義正	長崎大学	教授	COVID-19に対するワクチンの開発
R2	R2	松永 章弘	国立国際医療研究センター	上級研究員	抗新型コロナウイルス中和抗体エピトープ部位の把握による血漿提供候補患者スクリーニング法開発
R2	R2	峯岸 直子	東北大学	教授	バイオバンクが保有する健康人と疾患例の試料・情報を活用した抗SARS2-CoV-2抗体検査法の妥当性検討と予防医学への応用
R2	R2	森田 英嗣	弘前大学	准教授	蛋白質ナノ粒子を用いた粘膜免疫誘導型SARS-CoV-2ワクチンの開発
R2	R2	山吉 誠也	東京大学	特任准教授	SARS-CoV-2感染に対する抗体応答と血清疫学調査